

## 2024年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年9月12日

上場会社名 ラクスル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4384 URL https://corp.raksul.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 グループCEO (氏名) 永見 世央  
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 グループCFO (氏名) 杉山 賢 TEL 03(6629)4893  
 定時株主総会開催予定日 2024年10月24日 配当支払開始予定日 2024年10月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年10月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年7月期の連結業績（2023年8月1日～2024年7月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		non-GAAP EBITDA※	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期	51,121	24.6	17,192	39.8	2,523	42.9	4,547	44.6
2023年7月期	41,018	20.7	12,295	25.4	1,765	281.3	3,145	92.5

(注) 包括利益 2024年7月期 2,152百万円 (△50.4%) 2023年7月期 4,343百万円 (317.5%)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2024年7月期	2,041	74.7	2,118	59.4	36.33	34.52
2023年7月期	1,168	—	1,329	30.1	22.86	21.56

	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	%	%	%
2024年7月期	15.8	5.3	4.9
2023年7月期	12.7	3.8	4.3

(参考) 持分法投資損益 2024年7月期 △382百万円 2023年7月期 △513百万円

※1. non-GAAP EBITDAは、財務会計上の数値（GAAP、日本基準）から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものであり、当社の恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、株式報酬費用、減価償却費及びのれん償却費を中心に、当社が控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

2. 当社は、2023年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年7月期	43,871	15,708	32.4	244.30
2023年7月期	32,665	13,909	38.5	215.89

(参考) 自己資本 2024年7月期 14,209百万円 2023年7月期 12,567百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年7月期	2,705	△6,930	5,671	17,014
2023年7月期	2,902	297	△2,238	14,644

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年7月期	—	0.00	—	1.70	1.70	98	4.7	0.7
2025年7月期(予想)	—	—	—	2.30	2.30		5.9 ~7.5	

3. 2025年7月期の連結業績予想(2024年8月1日~2025年7月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		non-GAAP EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	61,000 ~63,000	19.3 ~23.2	21,000 ~22,000	22.1 ~28.0	3,200 ~3,700	26.8 ~46.6	5,500 ~6,000	20.9 ~31.9

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	2,700 ~3,200	32.2 ~56.7	1,780 ~2,280	△16.0 ~7.6

(注) 業績予想に関する事項は、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年7月期	58,972,546株	2023年7月期	58,476,092株
② 期末自己株式数	2024年7月期	810,350株	2023年7月期	264,312株
③ 期中平均株式数	2024年7月期	58,311,314株	2023年7月期	58,158,961株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年7月期の個別業績(2023年8月1日~2024年7月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		non-GAAP EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期	45,127	44.6	13,148	46.8	2,847	56.2	4,247	60.4
2023年7月期	31,208	4.0	8,954	5.5	1,823	167.1	2,647	67.5

	経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2024年7月期	2,684	54.4	2,871	124.6	49.25	46.83
2023年7月期	1,738	194.8	1,278	33.1	21.98	20.74

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年7月期	42,456	16,910	16,910	36.6	265.01	
2023年7月期	30,085	14,357	14,357	43.3	223.62	

(参考) 自己資本 2024年7月期 15,536百万円 2023年7月期 13,017百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2024年9月12日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	13
(会計上の見積りの変更に関する注記) .....	13
(セグメント情報等の注記) .....	14
(1株当たり情報) .....	19

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の分類が2類から5類へ移行するなど収束へ向けた動きが加速し、個人消費の拡大や海外からの渡航者の増加等、社会・経済活動の正常化に向け緩やかな持ち直しの傾向が見られました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢の悪化といった地政学的なリスクの顕在化に伴う緊張感の高まりによる資源価格の高騰に加えて、記録的な水準で円安が進行するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「仕組みを変えれば、世界はもっと良くなる」というビジョンの下、主に印刷・集客支援のプラットフォーム「ラクスル」、テレビCM・動画広告をはじめとするマーケティングプラットフォーム「ノバセル」を運営してまいりました。

当連結会計年度から代表取締役の変更もあり、ラクスルグループにとって第二創業期に入りました。複数の事業を運営する中で、オーガニックの成長だけでなく、連続的なM&Aによる拡張を通じて更なる事業成長、ひいては企業価値の創出をより一層加速させております。

当連結会計年度においては、商材の拡張を目的とするM&Aや原価低減などの収益性改善を目的とするM&Aを連続的にを行い、早期のシナジー創出のためにPMIに注力したほか、子会社を吸収合併することで事業成長をより一層促進するなど、新たなグループ作りに向けて積極的な動きをしております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は51,121百万円（前年同期比24.6%増）、営業利益は2,523百万円（前年同期比42.9%増）、経常利益は2,041百万円（前年同期比74.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,118百万円（前年同期比59.4%増）となりました。

セグメント毎の状況は、次のとおりであります。

#### (ラクスルセグメント)

「ラクスル」においては、ラクスルエンタープライズが導入企業社数2,000社を突破するなど既存事業がオーガニックな成長を続ける中、株式会社ラクスルフクトリー、株式会社AmidAホールディングス（現、株式会社ハンコヤドットコム）、株式会社エーリンクサービスの株式取得を通じて、商材の拡張や収益性の改善に向けた取り組みを行っており、連続的なM&Aによる拡張も実現しております。

この結果、売上高は47,097百万円（前年同期比24.8%増）、セグメント利益は5,139百万円（前年同期比38.8%増）となりました。

#### (ノバセルセグメント)

「ノバセル」においては、制作の売上が落ち込んでいる一方で、高速調査サービス「ノビシロ」をはじめとするSaaS事業は順調な拡大を続けております。さらに、株式会社Wild Sideの株式取得によるTVCMのバイイングの強化（番組指定、短期間・短納期バイイング、並びに高速PDCAの実現）や、株式会社Antooの株式取得による出張動画サービスのリリースなど、M&Aを活用しながら顧客価値の拡大を追求しております。

この結果、売上高は2,476百万円（前年同期比6.6%減）、セグメント損失は61百万円（前年同期はセグメント損失15百万円）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## ①流動資産

当連結会計年度末における流動資産は24,990百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,400百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が2,369百万円、受取手形及び売掛金が1,051百万円、商品及び製品が213百万円増加したことによるものであります。

## ②固定資産

当連結会計年度末における固定資産は18,881百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,805百万円増加いたしました。これは主に、のれんが3,518百万円、投資有価証券が2,499百万円増加したことによるものであります。

## ③流動負債

当連結会計年度末における流動負債は17,992百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,699百万円増加いたしました。これは主に、一年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債の固定負債から流動負債への振替による5,013百万円の増加のほか、短期借入金1,500百万円、未払金及び未払費用1,092百万円、買掛金525百万円増加したことによるものであります。

## ④固定負債

当連結会計年度末における固定負債は10,171百万円となり、前連結会計年度末に比べ292百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が2,571百万円、社債が2,000百万円増加した一方で、転換社債型新株予約権付社債の固定負債から流動負債への振替により5,013百万円減少したことによるものであります。

## ⑤純資産

当連結会計年度末における純資産合計は15,708百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,798百万円増加いたしました。これは主に、自己株式の取得により700百万円減少した一方、親会社株主に帰属する当期純利益を2,118百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は32.4%（前連結会計年度末は38.5%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ962百万円増加し、当連結会計年度末には17,014百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,705百万円（前連結会計年度は2,902百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益を3,430百万円、のれん償却費を931百万円、減価償却費を641百万円、株式報酬費用を473百万円、関係会社株式売却損益を1,407百万円計上したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6,930百万円（前連結会計年度は297百万円の獲得）となりました。これは主に、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出4,733百万円、投資有価証券の取得による支出2,392百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は5,671百万円（前連結会計年度は2,238百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入れによる収入4,250百万円、社債の発行による収入2,426百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社は、「仕組みを変えれば、世界はもっと良くなる」というビジョンの実現に向け、連結決算を開始した2022年7月期から、利益とキャッシュ・フロー創出を伴う事業拡大のポリシー「Quality Growth」に移行してまいりました。その結果、2021年3月11日及び2022年6月10日に公表の中期財務ポリシー（2025年7月期の売上総利益が17,500-20,000百万円、non-GAAP EBITDAが5,000-6,000百万円）の達成が確実な状況となっております。

これを受け、2024年3月13日に、以下のとおり2027年7月期までの新中期財務ポリシーを公表いたしました。

項目	2027年7月期までの 年平均成長率（CAGR）目標値	2027年7月期の実額目標値
売上総利益	20%	30,000百万円
non-GAAP EBITDA	30%	10,000百万円

当社の周辺領域には成長や優位性を強固にする魅力的な投資機会が多く、新中期財務ポリシー実現のドライバーは、ラクスル・ノバセル両事業のオーガニックな成長のほか、連続的なM&A及びそのシナジー創出であると考えております。つきましては、現存する子会社を含めたラクスルグループが保有する有形及び無形のアセットを最大限活用すべく経営統合（PMI）を進めることで、総利益率や販管費率といった収益性を維持・改善しつつ、投資機会を見極め効率的な投資を連続的に行うことで、今後も企業価値の最大化を図る方針であります。

また、事業の拡大により継続的なキャッシュフローが創出できるフェーズになったことから、2024年7月期末を配当基準日とする剰余金の配当の実施（初配）を決定しております。今後も継続的かつ安定的に配当を実施し、また、株価水準を本質的な価値に対して低位と考えるタイミングで自己株式取得を実施するなど、適切な株主還元を進める方針であります。

上記の考えに基づき、2025年7月期の売上高は61,000百万円～63,000百万円（前年同期比19.3%～23.2%増）、売上総利益は21,000百万円～22,000百万円（前年同期比22.1%～28.0%増）、営業利益は3,200百万円～3,700百万円（前年同期比26.8%～46.6%増）、経常利益は2,700百万円～3,200百万円（32.2%～56.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,780百万円～2,280百万円（前年同期比△16.0～7.6%増）を見込んでおり、また、当社が重要指標としているnon-GAAP EBITDAは5,500百万円～6,000百万円（前年同期比20.9%～31.9%増）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準及び国際会計基準による並行開示の負担等を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当連結会計年度 (2024年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,644	17,014
受取手形及び売掛金	4,718	5,770
商品及び製品	282	495
原材料及び貯蔵品	13	309
前払費用	549	424
その他	380	975
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	20,589	24,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	223	914
減価償却累計額	△113	△310
建物及び構築物 (純額)	110	603
機械装置及び運搬具	754	1,711
減価償却累計額	△599	△1,304
機械装置及び運搬具 (純額)	155	407
土地	—	135
建設仮勘定	—	136
その他	95	159
減価償却累計額	△66	△114
その他 (純額)	29	45
有形固定資産合計	294	1,328
無形固定資産		
のれん	4,212	7,730
ソフトウェア	320	538
ソフトウェア仮勘定	83	51
その他	8	3
無形固定資産合計	4,625	8,324
投資その他の資産		
投資有価証券	5,025	7,524
関係会社株式	1,452	454
長期前払費用	56	8
繰延税金資産	194	217
その他	427	1,022
投資その他の資産合計	7,156	9,228
固定資産合計	12,076	18,881
資産合計	32,665	43,871

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当連結会計年度 (2024年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,299	3,825
未払金及び未払費用	1,035	2,127
短期借入金	800	2,300
1年内返済予定の長期借入金	1,647	1,634
1年内償還予定の社債	—	450
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	5,003
未払法人税等	754	533
未払消費税等	294	391
契約負債	160	591
資産除去債務	—	122
賞与引当金	200	273
その他	100	738
流動負債合計	8,292	17,992
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	5,013	—
長期借入金	4,451	7,006
社債	—	2,000
資産除去債務	105	110
繰延税金負債	892	1,055
固定負債合計	10,463	10,171
負債合計	18,756	28,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,742	2,798
資本剰余金	5,549	5,606
利益剰余金	1,540	3,659
自己株式	△300	△1,001
株主資本合計	9,531	11,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,036	3,148
為替換算調整勘定	—	△1
その他の包括利益累計額合計	3,036	3,146
株式引受権	—	123
新株予約権	1,341	1,375
非支配株主持分	—	—
純資産合計	13,909	15,708
負債純資産合計	32,665	43,871

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
売上高	41,018	51,121
売上原価	28,722	33,929
売上総利益	12,295	17,192
販売費及び一般管理費	10,529	14,668
営業利益	1,765	2,523
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	1	1
為替差益	6	—
キャッシュバック収入	8	18
その他	10	23
営業外収益合計	38	55
営業外費用		
支払利息	54	65
株式報酬費用消滅損	41	9
持分法による投資損失	513	382
その他	24	80
営業外費用合計	634	536
経常利益	1,168	2,041
特別利益		
関係会社株式売却益	1,588	1,407
持分変動利益	103	—
新株予約権戻入益	1	132
その他	7	12
特別利益合計	1,701	1,553
特別損失		
固定資産除却損	11	—
有価証券評価損	205	—
関係会社株式売却損	147	—
解約違約金等	—	134
和解金	—	30
その他	3	—
特別損失合計	367	164
税金等調整前当期純利益	2,502	3,430
法人税、住民税及び事業税	836	939
法人税等調整額	336	449
法人税等合計	1,173	1,389
当期純利益	1,329	2,041
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	—	△76
親会社株主に帰属する当期純利益	1,329	2,118

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
当期純利益	1,329	2,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,014	112
為替換算調整勘定	—	△1
その他の包括利益合計	3,014	110
包括利益	4,343	2,152
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,343	2,229
非支配株主に係る包括利益	—	△76

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,694	5,501	165	△0	8,360
当期変動額					
新株の発行	48	48	—	—	96
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	1,329	—	1,329
連結及び持分法適用範囲の変動	—	—	45	—	45
自己株式の取得	—	—	—	△299	△299
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	48	48	1,375	△299	1,171
当期末残高	2,742	5,549	1,540	△300	9,531

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	22	22	930	—	9,312
当期変動額					
新株の発行	—	—	—	—	96
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	1,329
連結及び持分法適用範囲の変動	—	—	—	—	45
自己株式の取得	—	—	—	—	△299
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,014	3,014	411	—	3,425
当期変動額合計	3,014	3,014	411	—	4,596
当期末残高	3,036	3,036	1,341	—	13,909

当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,742	5,549	1,540	△300	9,531
当期変動額					
新株の発行	54	54	—	—	109
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	2,118	—	2,118
自己株式の取得	—	—	—	△700	△700
譲渡制限付株式報酬	2	2	—	—	4
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	56	56	2,118	△700	1,531
当期末残高	2,798	5,606	3,659	△1,001	11,062

	その他の包括利益累計額			株式引受権	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計				
当期首残高	3,036	—	3,036	—	1,341	—	13,909
当期変動額							
新株の発行	—	—	—	—	—	—	109
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	—	—	2,118
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	△700
譲渡制限付株式報酬	—	—	—	—	—	—	4
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	112	△1	110	123	33	—	267
当期変動額合計	112	△1	110	123	33	—	1,798
当期末残高	3,148	△1	3,146	123	1,375	—	15,708

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,502	3,430
減価償却費	231	641
のれん償却額	495	931
株式報酬費用	652	473
新株予約権戻入益	—	△132
有価証券評価損益 (△は益)	205	—
持分変動損益 (△は益)	△103	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	△1,441	△1,407
持分法による投資損益 (△は益)	513	382
解約違約金等	—	133
和解金	—	30
固定資産除却損	11	—
受取利息及び受取配当金	△12	△13
支払利息	54	65
賞与引当金の増減額 (△は減少)	64	54
売上債権の増減額 (△は増加)	△418	△436
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△85	5
仕入債務の増減額 (△は減少)	442	57
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	84	△120
未払消費税等の増減額 (△は減少)	83	48
その他	73	△169
<b>小計</b>	<b>3,354</b>	<b>3,975</b>
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△55	△59
法人税等の支払額	△399	△1,213
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,902</b>	<b>2,705</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8	△387
無形固定資産の取得による支出	△144	△176
投資有価証券の取得による支出	△155	△2,392
関係会社株式の売却による収入	274	1,266
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△4,733
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	685	—
敷金の差入による支出	△275	△524
短期貸付けによる支出	△156	△134
短期貸付金の回収による収入	76	114
その他	—	38
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>297</b>	<b>△6,930</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	1,500
短期借入金の返済による支出	—	△50
長期借入れによる収入	—	4,250
長期借入金の返済による支出	△2,013	△1,824
新株予約権の発行による収入	30	0
新株予約権の行使による株式の発行による収入	44	71
社債の発行による収入	—	2,426
自己株式の取得による支出	△299	△700
非支配株主への配当金の支払額	—	△1
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,238</b>	<b>5,671</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	962	1,446
現金及び現金同等物の期首残高	13,682	14,644
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	925
現金及び現金同等物の期末残高	14,644	17,014

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当条項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当連結会計年度において、当社の連結子会社であった株式会社ダンボールワンは、当社を吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

また、以下の会社は株式取得等により子会社となったため、当連結会計年度より連結の範囲に含めておりません。

株式会社AmidAホールディングス（現、株式会社ハンコヤドットコム）

株式会社ラクスルフクトリー

株式会社ペライチ

株式会社Wild Side

株式会社Antoo

株式会社エーリンクサービス

(会計上の見積りの変更に関する注記)

固定資産の耐用年数及び資産除去債務の見積りの変更

当連結会計年度において、当社は本社移転に関する決定を行ったことに伴い、移転後利用見込みのない固定資産について、移転予定日までの期間で減価償却が完了するように耐用年数を短縮しております。また、当社に係る不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務についても、償却に係る合理的な期間に短縮しております。

これにより、従来の方法に比べて、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益がそれぞれ43百万円減少しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象になっているものであります。

当社は「ラクスル」及び「ノバセル」2つを報告セグメントとしております。

「ラクスル」は印刷・集客支援のプラットフォーム「ラクスル」を、「ノバセル」はテレビCM・動画広告のプラットフォーム「ノバセル」をそれぞれ運営しております。

株式会社AmidAホールディングスの連結子会社化に伴い、当社グループの主力事業であるラクスルセグメントにおける収益の状況を把握するうえで、事業領域ごとに収益を分解し情報開示することが適切であると判断いたしましたので、当連結会計年度より、下記の領域ごとに収益を区分しております。

なお、前連結会計年度につきましては、変更後の区分に組み替えて表示しております。

印刷・ソリューション領域：事業活動に使う紙への印刷物、大企業向け印刷ソリューション

ビジネスサプライ周辺領域：オフィスや店舗で使われるモノに関する印刷物

梱包材領域：段ボールや紙袋などのパッケージング

その他の領域：上記以外のほか、テレビCM・動画広告のプラットフォーム「ノバセル」、システム構築支援事業等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、当社では事業セグメントへの資産の配分は行っておりません

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
前連結会計年度（自 2022年8月1日 至 2023年7月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	ラクスル	ノバセル	計				
印刷・ソリューション領域	17,743	—	17,743	—	17,743	—	17,743
ビジネスサプライ周辺領域	12,514	—	12,514	—	12,514	—	12,514
梱包材領域	7,493	—	7,493	—	7,493	—	7,493
その他の領域	—	2,652	2,652	614	3,267	—	3,267
顧客との契約から生じる収益	37,751	2,652	40,403	614	41,018	—	41,018
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
売上高							
外部顧客への売上高	37,751	2,652	40,403	614	41,018	—	41,018
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	3	9	32	42	△42	—
計	37,756	2,656	40,413	647	41,060	△42	41,018
セグメント利益又は損失(△)	3,701	△15	3,686	176	3,862	△2,097	1,765
その他の項目							
減価償却費	197	11	208	5	214	17	231
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	69	62	132	1	133	31	165

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム構築支援事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,097百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,097百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社建物の設備投資額であります。
4. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表計上額
	ラクスル	ノバセル	計				
印刷・ソリューション領域	20,239	—	20,239	—	20,239	—	20,239
ビジネスサプライ周辺領域	18,446	—	18,446	—	18,446	—	18,446
梱包材領域	8,411	—	8,411	—	8,411	—	8,411
その他の領域	—	2,476	2,476	1,547	4,023	—	4,023
顧客との契約から生じる収益	47,097	2,476	49,573	1,547	51,121	—	51,121
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
売上高							
外部顧客への売上高	47,097	2,476	49,573	1,547	51,121	—	51,121
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	26	38	12	50	△50	—
計	47,109	2,502	49,611	1,559	51,171	△50	51,121
セグメント利益又は損失(△)	5,139	△61	5,078	△193	4,884	△2,360	2,523
その他の項目							
減価償却費	498	25	523	10	533	84	618
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,000	66	1,066	28	1,095	—	1,095

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム構築支援事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,360百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,360百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

**【関連情報】**

前連結会計年度（自 2022年8月1日 至 2023年7月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年8月1日 至 2024年7月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

前連結会計年度（自 2022年8月1日 至 2023年7月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年8月1日 至 2024年7月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年8月1日 至 2023年7月31日）

（単位：百万円）

	ラクスル	ノバセル	計	その他	連結財務諸表 計上額
当期償却額	495	—	495	—	495
当期末残高	4,212	—	4,212	—	4,212

当連結会計年度（自 2023年8月1日 至 2024年7月31日）

（単位：百万円）

	ラクスル	ノバセル	計	その他	連結財務諸表 計上額
当期償却額	814	23	837	94	931
当期末残高	6,859	282	7,142	588	7,730

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年8月1日 至 2023年7月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年8月1日 至 2024年7月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
1株当たり純資産額	215.89円	244.30円
1株当たり当期純利益	22.86円	36.33円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	21.56円	34.52円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,329	2,118
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,329	2,118
普通株式の期中平均株式数(株)	58,158,961	58,311,314
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	△6	△6
普通株式増加数(株)	3,162,567	2,852,838
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第12回新株予約権 新株予約権の数 6,935個 (普通株式 1,387,000株) 第14回新株予約権 新株予約権の数 1,750個 (普通株式 350,000株) 第15回新株予約権 新株予約権の数 1,675個 (普通株式 335,000株)	第12回新株予約権 新株予約権の数 6,935個 (普通株式 1,387,000株) 第14回新株予約権 新株予約権の数 1,625個 (普通株式 325,000株) 第18回新株予約権 新株予約権の数 8,770個 (普通株式 877,000株) 第19回新株予約権 新株予約権の数 84,430個 (普通株式 84,430株)

2. 当社は、2023年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。